

事務事業名	公営住宅整備事業(ストック活用)		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	終了		
H29作成課等名	地域計画課	H29係等名	建築係	H28担当課等名	地域計画課			
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	施策	36	生活困難者の自立及び支援					
目的	対象(誰・何を)	市営住宅等		対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	長寿命化を目的とした施設整備及び維持管理を行うことによる、良質な既存ストックの確保			公営住宅需要推計で算定された対象世帯数(世帯)	1355		
	向上させたい上位施策の成果指標	生活相談者数/人口(外国人を含む) %			管理戸数(戸)	832		
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	整備済件数(件)/整備予定件数(件) %		45	45	52	53	
	定性目標							
事業概要	<p>公営住宅は、公営住宅法で定められた低額所得者等の住宅不足を緩和するため昭和20年代から供給されてきた。公営住宅等のストックは、耐用年限が過ぎて建物や設備の老朽化が著しいものもあり、改善・建替・用途廃止等計画的に行っていく必要がある。現在までに下水道の敷設がなされた大堤団地の水洗化及び浴室設置工事や、火災警報器の設置、小規模な老朽住宅の用途廃止、長野原団地への浴室設置等を行っている。</p> <p>今後は、建物の長寿命化を目的とした屋根や外壁の塗装工事、入居希望のない老朽住宅についての用途廃止及び解体を順次行っていく。</p> <p>また、昭和56年以前の建物で古いものから順次耐震診断を行う。</p>							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1	北の原団地C・D・F棟屋根・外壁改修	3棟	1	整備団地数	1	1団地	
	2	平林団地屋根・外壁改修	1棟	2	整備団地数	2	1団地	
	3	飯田市住宅基本計画策定業務	1件	3	業務数	3	1業務	
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		51,243	47,012	47,012	0	(国)社会資本整備総合交付金(地域住宅支援)(1/2) (地)公営住宅建設(充当率100%)		
国庫支出金		12,054	19,408	19,408				
県支出金								
起債		0	18,400	18,400				
その他								
一般財源		39,189	9,204	9,204				
人件費計(千円)②		0	0	0	0			
正規職員所要時間								
臨時職員所要時間								
総事業費①+②		51,243	47,012	47,012	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り	北の原団地 3棟54戸及び平林団地 1棟24戸の屋根外壁改修工事を行った。 国2次補正によりH29に予定していた北の原団地F棟の改修工事を前倒しで行った。							
改革改善の考え方	①問題点	老朽化した市営住宅について、解体経費がかかる。						
	②改革提案	良質なストックの維持を進める。						